

公益社団法人 日本地下水学会
2011年度 第5回 理事会 議事録

1. 開催日時：2011年6月25日 13:00～16:30

2. 開催場所： 熊本大学東京オフィス
東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・リエゾンセンター 5階501

3. 理事総数：14人

4. 出席理事数：12人 ○：出席，×：欠席

| | | | | | |
|----|-------|---|----|-------|---|
| 理事 | 今村 聡 | ○ | 理事 | 蛭原 雅之 | ○ |
| 理事 | 川端 純一 | ○ | 理事 | 高坂 信章 | ○ |
| 理事 | 嶋田 純 | ○ | 理事 | 斎藤 庸 | ○ |
| 理事 | 谷口 真人 | × | 理事 | 杉田 文 | ○ |
| 理事 | 中島 誠 | ○ | 理事 | 徳永 朋祥 | × |
| 理事 | 平山 利晶 | ○ | 理事 | 中屋 眞司 | ○ |
| 理事 | 丸井 敦尚 | ○ | 理事 | 松山 秀明 | × |

5. 出席監事

| | | | | | | | | |
|----|-------|---|----|-------|---|----|-------|---|
| 監事 | 前川統一郎 | × | 監事 | 村田 正敏 | ○ | 監事 | 平山 光信 | ○ |
|----|-------|---|----|-------|---|----|-------|---|

6. 議長の氏名：代表理事（会長） 嶋田 純

定刻に、代表理事 嶋田 純 は議長席につき、上記のとおり定足数にたる理事の出席があったので、13時05分本理事会の開会を宣した。

7. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名：該当する理事はいない。

8. 議事録作成者：理事 杉田 文

9. 理事会資料

- 理事会資料－1：公益社団法人日本地下水学会 2011年度第5回理事会 議事次第
- 理事会資料－2：公益社団法人日本地下水学会 2011年度第4回理事会 議事録（案）
- 理事会資料－3：公益社団法人日本地下水学会 2011年度定期代議員総会議事録
- 理事会資料－4：細則変更案
- 理事会資料－5：地下水学会入会願い（守田）
- 理事会資料－6：熊本大学 CREST 水循環シンポジウム（案）
- 理事会資料－7：共同声明
- 理事会資料－8－1：熊本大学 CREST 水循環シンポジウム
- 理事会資料－8－2：環境省「地熱資源開発に係る温泉・地下水への影響検討会」に関するヒアリ

ングのお願い

- 理事会資料－ 8－ 3：H23 環境省業務仕様書
- 理事会資料－ 8－ 4：検討会でのヒアリング
- 理事会資料－ 8－ 5：H23 環境省検討委員名簿
- 理事会資料－ 9：地下水学会誌 印刷部数について
- 理事会資料－ 10：第 32 回猿橋賞募集の案内
- 理事会資料－ 11：文部科学省表彰候補者の推薦について
- 理事会資料－ 12：揚水試験技術テキストのコピー注文
- 理事会資料－ 13：研究集会主催者会議に関する審議・報告事項
- 理事会資料－ 14：編集委員会に関する審議・報告事項
- 理事会資料－ 15：IT 委員会に関する審議・報告事項
- 理事会資料－ 16－ 1：市民コミュニケーション委員会に関する審議・報告事項
- 理事会資料－ 16－ 2：市民コミュニケーション委員会に関する相談・紹介事項
- 理事会資料－ 17－ 1：渉外（国際）委員会に関する審議事項
- 理事会資料－ 17－ 2：渉外（国際）委員会に関する補足資料
- 理事会資料－ 18：行事部会に関する審議・報告事項
- 理事会資料－ 19：地下水用語集パンフレット見本
- 理事会資料－ 20：地球惑星連合学協会長会議 報告

10. 議事の経過の要領およびその結果

【審議事項】

第 1 号議案：前回議事録を確認した。

第 2 号議案：代議員総会議事録を確認した。

第 3 号議案：新体制の確認と細則修正について

- ・新体制について確認し、新たに「男女共同参画担当理事」（担当：中屋理事）をおくこと、部会は設置しないこととした。また、担当名称は「広報」を「広報・IT」、「教育」を「技術者教育」、「講習会」を「企画」と変更することとした。「表彰」は丸井副会長の担当とした。
- ・細則については次回理事会で再度審議することとした。

第 4 号議案：人会希望者一人の入会を承認した。

第 5 号議案：各委員会

1) 渉外：

- ・資料 6 により熊本大学 CREST シンポジウム後援の依頼があったことが説明され、後援することが承認された。
- ・資料 8－ 1 から 8－ 5 により環境省「地熱資源開発に関わる温泉・地下水への影響評価検討会」より希望のあったヒアリングについて経緯説明があり、本学会からは平山理事が対応することとした。
- ・資料 17－ 1、17－ 2 により IAHS より依頼のあった NHAs 「Network of National Hydrological Associations」への参加について説明があり、参加することが承認された。

2) 編集：

- ・J-stage への搭載用過去雑誌のアーカイブについて、JST の募集に申請することが承認された。

- ・2009年度、2010年度分については本学会の基金を用いてアーカイブ化することが承認された。
 - ・著作権移譲手続きを始めることを了承した。
 - ・学会誌の印刷部数を減ずることを了承した。
- 3) 企画：
- ・地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会の主催依頼の経緯について説明があり、本学会の対応は継続審議とした。
- 4) 広報・IT：
- ・資料15により Web 会議の運営方法について説明があり、次回理事会から試行することを了承した。
- 5) 市民コミュニケーション：
- ・市民コミュニケーション委員会業務執行理事は、次回代議員総会までは今村副会長が兼務することとし、五藤氏が幹事長を務めることを承認した。
 - ・市民コミュニケーション委員会の HP から「地下水用語集」HP へのリンクは理工図書との調整を計りながら進めることとした。
 - ・テレビ朝日鷺見様からの問い合わせへの対応案について検討した。
- 6) 総務：
- ・第32回猿橋賞、文科省表彰の候補者募集があったことが報告され、本学会からは文科省表彰候補者として西垣前会長を推薦することを検討することとした。
 - ・揚水試験技術テキストのコピー依頼についてはテキストを販売することとした。

【報告事項】

1. 学術講演（行事）：資料18により2011年度春季学術講演会開催報告があった
2. 渉外：資料7により地球惑星科学連合より共同声明が発表されたことが報告された。
3. 編集：資料14により、編集状況について報告があった。
4. 企画：地下水用語集の編集状況が報告された。
5. 広報・IT：広報・ITの役割について確認した。
 - ・広報・ITの委員名簿が報告された。
6. 市民コミュニケーション：
 - ・本年10月2日（日）に「湧水めぐりスタンプラリー」を実施することが報告された。
 - ・「地下水 book guide」出版、日本の湧水の HP 掲載、地下水の科学のパワーポイント化が進行中であることが報告された。
 - ・三井物産の研究助成に関連して、共同作業団体として水文・水資源学会の先行部隊の活動状況が報告された。
7. 会計：6月末までに法務局に行う年度報告の準備状況について説明があった。
8. 総務：揚水試験技術テキストのコピー依頼についてはテキストを販売することとした。
9. 今後の予定：

2011年度第6回理事会

日時：2011年8月20日 13:15～

場所：熊本大学東京オフィス キャンパスリエゾンセンター5階501

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は16時30分閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し代表理事及び監事が次に記名押印する。

2011年 6月 26日

公益社団法人日本地下水学会 理事会

代表 理事：嶋田 純



監 事：村田 正敏



監 事：平山 光信

